

## 香川地域継続検討協議会発足式・第 1 回香川地域継続検討協議会 議事録

---

【日 時】 平成 24 年 5 月 31 日 (木) 14:00 ~ 16:00

【場 所】 高松サンポート合同庁舎 低層棟 2 階 アイホール

---

## 〈配布資料〉

- [資料 1] : 香川地域継続検討協議会 規約  
[資料 2] : 平成 23 年度香川 DCP 勉強会成果  
[資料 3] : 四国の地域継続力向上を目指して  
~香川地域継続検討協議会 (仮称) 設立シンポジウム~抄録  
[資料 4] : 議事関係資料  
[参考資料 1] : 岩手県における広域防災拠点整備の考え方等について  
[参考資料 2] : 香川大学 News Release  
香川県内企業の事業継続計画 (BCP) 取り組み状況調査結果の公表について

## 〈議事内容〉

## 1. 趣旨説明

香川大学危機管理研究センター長 白木教授より、香川地域継続検討協議会の趣旨説明を行った。

## 2. 協議会規約、構成員の確認

香川大学危機管理研究センター 磯打特命准教授より、資料 1 を用いて、協議会規約、構成員の説明を行った。

各構成員より自己紹介を行った。

## 3. 議事

## (1) 協議会の運営方法

香川大学危機管理研究センター長 白木教授より、資料 4 を用いて協議会の運営方法について説明があった。

## (2) 年度計画

香川大学危機管理研究センター長 白木教授より、資料 4 を用いて年度計画についての説明があった。また、香川大学危機管理研究センター 磯打特命准教授より、参考資料 1、2 を用いて参考事例や既往調査結果の説明があった。

各委員の意見は以下のとおりである。

○審議 (質疑応答)

＜四国総合通信局 無線通信部＞

- ・拠点機能の設置提案はよいと思う。四国は、行政の庁舎も含め、沿岸に拠点が集中している。ぜひ拠点の計画を進めてほしい。

＜四国厚生支局＞

- ・議論のベースとなるよう、これまでに収集した資料を提供いただければと思う。

＜会長＞

- ・議論の共通認識を得るべく、主に勉強会で資料提供をしていきたい。

＜四国経済産業局＞

- ・香川県の防災計画との関連性を考慮いただきたい。また、香川地域継続計画の中では、役割分担、情報、指揮命令系統をはっきりさせておく必要がある。

<会長>

- ・香川県では、高松市以外にBCPを策定している市町村はない。別途協議会で、香川県の地域防災計画の考え方を共有したい。
- ・物流関係の指示命令系統はDCP策定で重要な役割を担う。今後議論させていただきたい。

<中国四国産業保安監督部四国支部>

- ・BCP、DCPで役割分担を明確化できればよいと考える。

<会長>

- ・各組織のBCPの重要業務を統一することは難しいが、BCPに盛り込むべきDCPの観点を検討できればと考えている。

<四国地方整備局企画部広域計画課>

- ・年度計画では、平成25年度以降に四国地域継続計画を策定予定であるが、戦略会議で策定した四国地震防災基本戦略との考え方の違いを聞きたい。

<会長>

- ・四国地震防災基本戦略の1項目として、四国地域継続計画が明記されている。戦略会議と連携しながら検討を進めていく。

<四国地方整備局企画部防災課>

- ・香川地域継続計画では、今後四国全域に展開するための考え方の基本を示せばと考える。また、市町村がBCPを作成する上で参考になるものが提示できればと思う。
- ・本協議会には、道路啓開・復旧、ライフライン復旧にかかる関係機関が含まれることから、発災直後に機能するものをまずは目指していくべきではと考える。

<会長>

- ・指摘された事項について、次回協議したい。

<四国運輸局>

- ・物流機能については、四国だけで対応できない部分は、中国、九州地方とも連携して実施するよう、四国運輸局では当該地方運輸局、関係自治体、物流事業者と連携して内で検討している。

<会長>

- ・四国全体、中国、九州からの支援について紹介いただく機会を是非設けたい。

<国土地理院四国地方測量部>

- ・状況把握のための地理空間情報、地殻変動情報の提供を行っている。

<会長>

- ・東日本大震災の反省点として、沿岸部の被害状況が内陸部に伝わらなかったことがあげられる。発災前に、情報連携の方策について定めておけば、早い段階で情報共有が可能となる。本協議会で情報連携についても議論していきたい。

<高松地方气象台>

- ・气象台では、最悪の事態を想定したBCPとして、情報発信できない場合の検討を実施している。情報通信・ライフライン系グループとも議論し、情報提供を確実なものとしていきたい。

<会長>

- ・情報提供を期待している。

<香川県>

- ・南海トラフの巨大地震の想定が終われば、応急対策活動要領やそれに基づく計画が策定（見直し）されると考えられる。国の動向を注視しながら、本協議会の検討を進めていただければと思う。

<会長>

- ・国の考え方も取り入れながら、検討を進めていきたい。

<香川県技術企画課>

- ・規約に BCP 未策定企業への策定支援が含まれる。建設業者への BCP 普及への課題は、スキルがないことが課題の一つとして挙げられるため、普及についても本協議会で検討いただきたい。

<会長>

- ・普及については、本協議会とは別に香川大学でも実施する予定である。

<高松市危機管理課>

- ・高松市は、四国全体の災害対策よりも、市民の避難支援や市民への物資提供を行うことが重要業務となる。
- ・市としては、職員の派遣が必要と想定されるため、協定書のような形で、派遣人数や派遣先を定めていただきたい。
- ・計画停電の BCP を策定中である。停電の場合、情報の入手が難しいことから、手段の整備を望む。
- ・発災時に緊急自動車優先してガソリンを得る仕組みを策定してほしい。

<会長>

- ・BCP、DCP は究極の合意形成と考える。先ほどの、緊急車両優先に関する意見含め、基礎自治体の観点から、ご意見をいただければと思う。

<高松市企業総務課>

- ・本協議会内での立ち位置を探っている段階である。
- ・香川地域継続計画と四国地域継続計画で、一貫した考え方を示していただきたい。

<会長>

- ・市としては市民を守ることがもちろん重要であるが、その先に期待されることとして、四国全体の支援があると捉えていただきたい。

<高松市危機管理課>

- ・地域防災計画には、他地域の支援についても盛り込んでいることを補足する。

<四国電力>

- ・中期目標における香川地域継続計画から四国地域継続計画へのステップが難しいのではないかと考える。

<西日本電信電話>

- ・最低限の通信の確保の後に、通信インフラの早期復旧と考えている。
- ・巨大地震が発生した際に、四国内のみならず、他地方からの支援を想定している。その際に、移動手手段、道路啓開・復旧情報等を提供いただきたい。

<NTT ドコモ四国支社>

- ・西日本電信電話さんと同様に、東日本大震災時には、情報を得ることが難しかった。

<四国ガス>

- ・策定に際しては、出来る限りの協力をしていきたい。

<会長>

- ・本日の意見の踏まえ、運営計画や年度計画を見直し、意見照会することとする。

#### 4. 今後の予定

香川大学危機管理研究センター長 白木教授、香川大学危機管理研究センター 磯打特命准教授より今後の予定について、説明があった。

- ・第2回協議会の日程は、9月中旬で調整の上、案内する。
- ・また、7月頃に勉強会を予定している。内容は、BCPのISOについての情報提供などを想定している。

以上